都市計新聞

2022年9月6日 水曜日

発行者：伊藤、野添、田路、辻尾、寺川、徳永、吉岡

ツールをマスターしよう

田路くん、先生になる

中間発表に向けて

修論・卒論のテーマが決まり、本格的に研究が進んでいる。実験や分析で使用するソフトも各異なっている。現在は、その使い方を勉強しつつ、慣れていく練習をおこなっている。その中でも田路くんは、ドライバーの自己評価と運転技能についてのレーターに関して研究をしており、ドライビングシミュリ、ドライバーのビジョンをはじめである。グシュミレーターを用いて、一週間ごとに達成目標を設定し、オブジェクトを置方法学習も導入していてみたり、スしており、実験ムーズにカルブへの準備も整っ験を行う。視線を測定する曲がれるようにてきている。試行錯誤しつつ、「彼以外の学生たりするように、河川愛着や着実に実力を身地域愛着等に関に着け、彼はする研究テーマ」ですでにドライバ決定しており、その勉強に加え、それぞれおく必要があるのベースでツール学習や予備調ぶ機会も増えた査をし、中間発表と思うが、今一度気を引き締表に向けて精進能している。今後め、各自目標を設定してベースを崩さないことが求められるだろう。それまでにツールの使い方をマスターしておく必要があるのベースでツール学習や予備調ぶ機会も増えた査をし、中間発表と思うが、今一度気を引き締表に向けて精進能している。今後め、各自目標を設定してベースを崩さないことが求められるだろう。それまでにツールの使い方をマスターしておく必要があるのベースでツール学習や予備調ぶ機会も増えた査をし、中間発表と思うが、今一度気を引き締表に向けて精進能している。今後め、各自目標を設定してベースを崩さないことが求められるだろう。それまでにツールの使い方をマスターして

研究発表講座

白柳研ゼミが伝わりづらい第1回では、発「見栄えが良い」ライドをもとに内容の整理にも期間を活かしあの基礎やおしゃれのつけ方、余白紹介した。発表ることより理解を深めていく。「読みやすいトや本、過去のイン」の修正を行進めていきたい。

ニック向上講座では、研究発表テクる。そこで本講座が行われてPowerPointでいる。研究発のスライド作成たって、いくれな配色、論文を活用したレイ者自身もデザイて、修士1年な評価が得られ小見出しと本文するポイントを去に作成したスでは、夏休みと、誤った情報表スライドに適スライドを作成勉強し、具体例つながり、論理では、夏休みと、誤った情報表スライドに適スライドを作成勉強し、具体例つながり、論理で、修士1年な評価が得られ小見出しと本文するポイントを去に作成したスライドを修正する。研究発表テクる。そこで本講座では、PowerPointでいる。研究発のスライド作成たって、いくれな配色、論文を活用したレイ者自身もデザイて